

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容
1	3	利用者家族の運営推進会議への出席がない。出席できるように工夫し、意見や要望を聞き運営に生かす取り組みをすること。	利用者家族にも出席して頂けるようにする。	グループホーム、小規模多機能の両施設で利用者家族に交互に参加して頂き、利用者家族の出席に対する負担を軽減します。
2	12	短期間の入所者に対して急変した場合の対応など、施設全体で話し合い、ケアの方針等の確立が必要。	入居期間が比較的短期間の入居者の重度化、終末期について施設内の体制づくりをする。	特別養護老人ホームのように、比較的看取りや重症者のケアの機会が多い他施設の見学を通して、その利用者への関わり方を学び、施設内で今後どのように関わっていくのかを検討します。 入居期間が比較的短い利用者においても、基本的考え方は同じとしますが、これについても同時に検討します。
3	13	非常災害時の避難誘導につて、近隣住民の参加がない。	非常災害時に近隣住民からの支援が受けられる体制を整える。	地域住民の方が緊急時に協力して頂けるように連絡体制を確立します。 避難訓練に地域の方に参加、協力をしていくことについては今後1年間をかけて体制づくりをしたいと思います。
4				
5				

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。